



電話情報とディスプレイ設定

- [電話機の情報およびディスプレイ設定 \(1 ページ\)](#)
- [電話機の名前を設定する \(1 ページ\)](#)
- [スタートアップ画面のカスタマイズ \(2 ページ\)](#)
- [電話ディスプレイの壁紙をカスタマイズする \(3 ページ\)](#)
- [電話機のウェブインターフェースによるスクリーンセーバーの設定 \(5 ページ\)](#)
- [電話機のウェブインターフェースからバックライトタイマーを調整します \(8 ページ\)](#)
- [製品構成バージョンのカスタマイズ \(8 ページ\)](#)
- [アクティブコールへのフォーカスを維持 \(9 ページ\)](#)

電話機の情報およびディスプレイ設定

電話機の Web ユーザーインターフェイスを使って、電話機の名前、背景の画像、ロゴ、スクリーンセーバーなどの設定をカスタマイズできます。

電話機の名前を設定する

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 [全般 (General)] の下で、[ステーション表示名 (Station Display Name)] フィールドに電話機の名前を入力します。

この名前は電話機の画面に表示されます。 次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Station_Display_Name ua="na">Recetion Desk</Station_Display_Name>
```

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

スタートアップ画面のカスタマイズ

Cisco IP 電話の起動時に表示するテキストまたはイメージのロゴを作成できます。ロゴは、シスコのロゴが表示された後の短いブートシーケンス中に表示されます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ1 音声 > ユーザをクリックします。

ステップ2 [画面 (Screen)]セクションで、[ブート表示 (Boot Display)]フィールドからオプションを選択します。

- [デフォルト (Default)]: スタートアップ画面に空白の画面または既存の画面を表示します。
- [ダウンロード画像 (Download Picture)]: スタートアップ画面に画像を表示します。 [画像ダウンロードURL (Picture Download URL)]フィールドにパスを入力します。
- [ロゴ (Logo)]: スタートアップ画面にロゴを表示します。 **ロゴURL**フィールドにパスを入力します。
- [テキスト (Text)]: スタートアップ画面にテキストを表示します。 [テキスト表示 (Display)]フィールドにテキストを入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Boot_Display ua="na">Logo</Boot_Display>
```

有効値は、デフォルト |画像のダウンロード|Logo|テキストです。デフォルトのオプションはデフォルトです。

ステップ3 画像またはロゴを表示するには、**画像のダウンロードURL**または**ロゴのURL**フィールドにパスを入力します。

次に例を示します。

```
http://10.64.84.147/pictures/image04.png
```

間違ったURLを入力して画像をダウンロードすると、電話機は新しい画像へのアップグレードに失敗し、既存の画像を表示します。電話機にダウンロードされた画像がない場合は、グレーの画面が表示されます。

ロゴは、.jpg または .png ファイルである必要があります。電話機には固定表示領域があります。そのため、元のロゴサイズが表示領域に収まらない場合は、画面に合わせて縮小する必要があります。Cisco IP 電話 7832 の表示領域のサイズは 48 X 48 です。

ロゴは、.jpg または .png ファイルである必要があります。電話機には固定表示領域があります。そのため、元のロゴサイズが表示領域に収まらない場合は、画面に合わせて縮小する必要があります。Cisco IP 電話 8832 の表示領域のサイズは 48 X 48 です。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Picture_Download_URL
ua="na">http://10.64.84.147/pictures/bootimage1.jpg</Picture_Download_URL>
<Logo_URL ua="na">http://10.64.84.147/pictures/logo_image.jpg</Logo_URL>
```

ステップ 4 起動時にテキストを表示するには、以下の要件に従ってテキスト表示フィールドに表示するテキストを入力します。

- 各行に 32 文字未満の最大 2 行のテキストを入力します。
- 2 行の間に改行文字 (\n) とエスケープコード (%0a) を挿入します。

たとえば、

```
Super\n%0aTelecom
```

次の内容が表示されます。

```
Super
Telecom
```

- 書式設定用のスペースを追加するには、+ 記号を使用します。テキストの前後に複数の + 文字を追加して、テキストを中央に配置することができます。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Text_Display ua="na">Super\n%0aTelecom</Text_Display>
```

ステップ 5 **Submit All Changes** をクリックします。

電話機は再起動し、画像ファイルを取得して、次の起動時に画像、ロゴ、またはテキストを表示します。

電話ディスプレイの壁紙をカスタマイズする

電話機の画面に背景としてカスタムロゴまたは画像を表示するように電話機を設定できます。

追加できる壁紙のファイルサイズは 625k バイトまでです。

手順

ステップ 1 電話機のウェブページで、**音声 > ユーザ** を選択する。

ユーザは、電話機のウェブインターフェイスで壁紙を変更することもできます。

ステップ 2 画面 セクションで、**電話機の背景** フィールドのいずれかのオプションを選択します。

- **[デフォルト]**：システムのデフォルトの背景を維持します。
- **画像ダウンロード**—TFTP、FTP、または HTTPS サーバからダウンロードした画像が表示されます。このオプションを選択する場合は、**画像ダウンロード URL** フィールドに画像の URL を入力します。
- **Logo**—TFTP、FTP、または HTTPS サーバからダウンロードしたロゴを表示します。このオプションを選択する場合は、**ロゴのURL** フィールドにロゴの画像の URL を入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Phone_Background ua="na">Logo</Phone_Background>
```

ステップ 3 カスタム壁紙を TFTP、HTTP、または HTTPS サーバにアップロードします。

画像は .jpg ファイルまたは .png ファイルです。推奨サイズは 800 X 128 ピクセルです。画像が推奨サイズではない場合でもユーザはアップロードできますが、画面に合わせてサイズが変更されます。

ステップ 4 **Picture Download URL** フィールドに、壁紙画像がアップロードされているパスを入力します。

URL には、TFTP、HTTP、または HTTPS サーバー名（または IP アドレス）、ディレクトリ、およびファイル名を含める必要があります。URL の 255 文字を超えないようにします。

例：

```
http://10.64.84.147/pictures/image04.jpg
```

新しい壁紙をダウンロードするために正しくない URL を入力すると、電話は新しい壁紙にアップグレードすることができず、既存のダウンロードされた壁紙を表示します。電話機にダウンロード済みの壁紙がない場合は、グレーの画面が表示されます。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Picture_Download_URL  
ua="na">http://10.64.84.147/pictures/image04.jpg</Picture_Download_URL>
```

ステップ 5 TFTP、HTTP、または HTTPS サーバにロゴ画像をアップロードします。

ロゴは、.jpg または .png ファイルである必要があります。電話機には固定表示領域があります。そのため、元のロゴサイズが表示領域に収まらない場合は、画面に合わせて縮小する必要があります。Cisco IP 電話 7832 の表示領域のサイズは 48 X 48 です。

ロゴは、.jpg または .png ファイルである必要があります。電話機には固定表示領域があります。そのため、元のロゴサイズが表示領域に収まらない場合は、画面に合わせて縮小する必要があります。Cisco IP 電話 8832 の表示領域のサイズは 48 X 48 です。

ステップ 6 ロゴの URL フィールドに、ロゴの画像がアップロードされている場所のパスを入力します。

URL には、TFTP、HTTP、または HTTPS サーバー名（または IP アドレス）、ディレクトリ、およびファイル名を含める必要があります。URL の 255 文字を超えないようにします。

例：

```
http://10.64.84.147/pictures/logo_image.jpg
```

間違った URL を入力して新しいロゴをダウンロードすると、電話機は新しいロゴへのアップグレードに失敗し、既存のダウンロードしたロゴが表示されます。電話機にダウンロードされた画像がない場合は、グレーの画面が表示されます。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Logo_URL ua="na">http://10.64.84.147/pictures/logo_image.jpg</Logo_URL>
```

ステップ 7 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

背景画像の URL を変更すると、電話機が再起動します。

電話機のウェブインターフェースによるスクリーンセーバーの設定

電話機のスクリーンセーバーを設定できます。電話機が指定された期間アイドル状態が続くと、スクリーンセーバーモードに入ります。

ボタンを押すと、電話機が通常モードに戻ります。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[スクリーンセーバーのパラメータ \(6 ページ\)](#) の文字列のシンタックスを参照してください。

始める前に

電話管理のウェブインターフェースにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェースへのアクセス](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** 電話機のウェブページで、[音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択する。
- ユーザは [ユーザ ログイン (User Login)] > [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択して電話機にスクリーンセーバーを追加できます。
- ステップ 2** **Screen** セクションで、[スクリーンセーバーのパラメータ \(6 ページ\)](#) の説明に従ってフィールドを設定します。
- ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

スクリーンセーバーのパラメータ

次の表で、電話 Web インターフェイスの [音声 (Voice)] > [ユーザー (User)] タブの下にある [画面 (Screen)] セクションのスクリーンセーバーのパラメータの機能と使用方法を定義します。パラメータを設定する XML コードで電話機設定ファイル (cfg.xml) に追加された文字列の構文も定義されています。

表 1: スクリーンセーバーのパラメータ

パラメータ	説明
Screen Server Enable	<p>電話機でスクリーンセーバーを有効にするには、Yes を選択します。スクリーンセーバーモードに入ります。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を追加します。 <code><Screen_Saver_Enable ua="rw">Yes</Screen_Saver_Enable></code> 電話機のウェブインターフェイスで、スクリーンセーバーを有効にします。 <p>有効値: はい (Yes) いいえ (No)</p> <p>デフォルト: [いいえ (No)]</p>

パラメータ	説明
Screen saver type	<p>スクリーンセーバーの種類。次のオプションを選択できます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Clock：単色背景にデジタル時計を表示します。 • Download Picture：電話機の Web ページから取得された画像を表示します。 • Logo：電話画面にロゴを表示します。 Logo URL フィールドで URL を入力します。 <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で XML を入力します。 <pre><Screen_Saver_Type ua="rw">Clock</Screen_Saver_Type></pre> • 電話機のウェブインターフェイスで、スクリーンセーバーを選択します。 <p>有効値：クロック 画像のダウンロード ロゴ デフォルト：クロック</p>
Screen Saver Wait	<p>スクリーンセーバーが表示されるまでのアイドル時間の長さです。スクリーンセーバーが開始されるまでのアイドル時間の秒数を入力します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で XML を入力します。 <pre><Screen_Saver_Wait ua="rw">300</Screen_Saver_Wait></pre> • 電話機のウェブインターフェイスで、時間を秒単位で設定します。 <p>有効値：30 ~ 65000 の整数 デフォルト：300</p>
Picture Download URL	<p>電話画面の背景に表示する (.png) ファイルを示す URL です。画像が表示されるか、起動時に [電話機の背景 (Phone Background)]、[スクリーンセーバーの起動 (Boot Display)] フィールドの設定に応じて表示されます。</p> <p>間違った URL を入力して新しい画像をダウンロードすると、電話機は新しい画像を表示します。電話機にダウンロードされた画像がない場合は、デフォルトの画像が表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で XML を入力します。 <pre><Picture_Download_URL ua="rw">http://10.74.3.52/images/screen_saver</Picture_Download_URL></pre> • 電話機のウェブインターフェイスで、写真が保存されている URL を入力します。 <p>有効値: 255 文字を超えない有効な URL デフォルト：空</p>

パラメータ	説明
Logo URL	<p>ロゴ画像が保存されている場所の URL またはパスを入力します。ロゴのレイ、または電話機の背景フィールドの設定に応じて、画面の背景、スタイルが変更され、表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Logo_URL ua="rw">http://10.74.3.52/images/Logo1.png</Logo_URL></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、ロゴの画像が保存されている場所の URL を入力します。 <p>有効値: 255 文字を超えない有効な URL</p> <p>デフォルト: 空</p>

電話機のウェブインターフェイスからバックライトタイマーを調整します

あらかじめ設定した時間に各電話機のバックライトを無効にすることで、省エネできます。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [ユーザー (User)] を選択します。

ステップ 2 **Screen** セクションで、**Back Light Timer** パラメータの期間を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Back_Light_Timer ua="rw">30s</Back_Light_Timer>
```

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

製品構成バージョンのカスタマイズ

電話機の設定ファイル (cfg.xml) で、製品の設定バージョンをカスタマイズできます。変更を有効にした後、ユーザーは電話機に製品情報の設定バージョンを表示できます。

手順

ステップ 1 電話設定ファイル (cfg.xml) をテキストまたは XML エディターで編集します。

ステップ2 cfg.xml ファイル内の要素 <Device_Config_Version> 値を追加します。

次に例を示します。

```
<Device_Config_Version ua="na">2021-01-05-v1</Device_Config_Version>
```

デフォルト：空

有効値の範囲: 0 ~ 64 文字

タグがcfg.xmlファイルに存在しないか、パラメータ値が空の場合、**設定バージョン**のメニュー項目は電話画面の**製品情報**に表示されません。

ステップ3 変更内容をcfg.xmlファイルに保存します。

アクティブコールへのフォーカスを維持

ユーザが着信コールを受信した場合に、アクティブコールにフォーカスが合っている状態が続く状態を確保するために電話機を設定できます。

デフォルトでは、電話画面のフォーカスがアクティブコールから着信コールに自動的に移動します。ただし、電話機を設定すると、ユーザが着信コールを持っている場合でも、アクティブコールに常にフォーカスが合っている状態が維持されます。

フォーカスは、次の状況では着信コールに移動します。

- ユーザーがアクティブコールを保留にした後、1つ以上の着信コールを受信すると、フォーカスは自動的に最初の着信コールに移動します。
- ユーザーがアクティブコール中に1つ以上の着信コールを受信し、アクティブコールを保留にした場合、フォーカスは自動的に最初の着信コールに移動します。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ1 [音声 (Voice)] > [ユーザー (User)] を選択します。

ステップ2 [補足サービス] セクションで、[アクティブコールにフォーカスを維持] を [はい] に設定します。

このパラメータは、設定ファイルでも設定できます。

```
<Keep_Focus_On_Active_Call ua="na">Yes</Keep_Focus_On_Active_Call>
```

有効値: はい (Yes) といいえ (No)

デフォルト: [いいえ (No)]

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。